

行政調査報告書「総務企画常任委員会」

平成28年7月20日（水）～22日（金）

■佐賀県佐賀市『生産性を高める職場環境について』

佐賀市は、庁舎改修に合わせて行った職員アンケートの結果から、通路や打合せ、休憩スペースを確保するため、1階フロア的环境改善に取り組んでいる。市民目線に立った24万市民のための「最適市役所づくり」を目指している。本市も、庁舎のフロア改修を進めているが、フロア環境の改善も大切だが、来庁者の使いやすさ向上が最も大切であることから、ソフト面、ハード面ともに強化していくことが必要であると感じた。



■福岡県柳川市『シティプロモーション「滞在力の強化」について』

柳川市は、住民と観光客との交流を通して、有明海や沿岸の干拓地の魅力を有効に活用し、国内外の



お客様の満足度を高め、滞在時間の延長や観光消費の拡大を図るため、地域交流人口を増やし、地域経済の振興につながる観光施策を実施している。本市とは地域資源や産業が異なるため、柳川市の観光施策とは合致しないが、現在建設中のアンフォーレの来場者を市街地回遊へ誘導するための施策などに参考となる内容であった。

■福岡県福岡市『休業者の職場復帰プログラムについて』

福岡市では、長年にわたり積み重ねられた経験や知識を活かすため、長期病休からの復帰を支援するため「公務適応支援研修」を個人の状況に応じて実施している。また、育児休暇復帰者に対して、復帰前に育児経験のある職員との交流や育休職員同士の情報交換、パパママ講座など復帰をスムーズに行えるような仕組み対策を積極的に取り入れている。本市でもこうした取り組みは必要であると感じた。

